

科目区分	専門教育科目	授業科目名	領域「表現」の指導法Ⅱ			科目コード	24Y211	担当者	山中 慶子			担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	後期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士選択		
授業形態	演習	履修条件	「領域『表現』の指導法Ⅰ」を履修済みであること。								教育職員免許法 施行規則に 定める 科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目			実務の経験内容及び 科目との関連							科目に含める ことが必要な 事項			

授業の主題	領域「表現」の指導法Ⅰを踏まえ、保育を構想する力を身に付ける。 児童文化について学び、基礎技能を身に付ける。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	提出物を確認し、授業で紹介したり個別に対応したりしてフィードバックを図る。
授業の方法	レジュメを元に領域表現、及び児童文化に関する講義を行う。 児童文化財の製作を行い、実践と省察を行う。	アクティブ・ラーニングの 実施方法	一部の授業では、グループで絵本の読み聞かせを行ったり、児童文化財の製作・実践を行う方法を用いる。

回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	人形遊び・劇遊びについて／手袋人形の作成①	人形遊び・劇遊びに関する文献を読む。手袋人形の材料を準備する	
第2回	手袋人形の作成②	手袋人形の構造を理解し、人形の細部まで構想を練る	
第3回	表現者としての保育者／おはなし・絵本・紙芝居について	おはなし・絵本・紙芝居に関する文献を読む	
第4回	絵本の読み聞かせ実践	読み聞かせを行う絵本を選び、読みの練習をする	
第5回	パネルシアター・ペープサート・エプロンシアターについて	パネルシアター・ペープサート・エプロンシアターについての文献を読む	
第6回	子どもと楽しむ表現①／児童文化財の作成	自身が作成する児童文化財の特徴を理解し、構想を練る	
第7回	子どもと楽しむ表現②／児童文化財の作成	児童文化財がより効果的に演じられるような工夫について調べる	
第8回	子どもと楽しむ表現③／児童文化財の発表と評価	子どもの前で演じることを想定し、練習を行う	
		事前・事後 学修時間 (分／授業1回)	180分／授業1回

教科書 [書名／著者 名／出版社]	新しい保育講座11 保育内容「表現」／小林紀子、砂上史子、刑部育子／ミネルヴァ書房	受講生への メッセージ	児童文化財について理解を深め、実践によって表現することの楽しさや喜びを感じましょう。
参考書 [書名／著者 名／出版社]	適宜、プリントを準備します		

